

EXCEL アドイン潜在クラス分析 Ver.1.0 による分析一例

EXCEL アドイン潜在クラス分析 Ver.1.0 は、EXCEL アンケート太閤シリーズや他の EXCEL 統計解析シリーズとはダイアログボックスなどの体裁が異なったソフトです。

以下に分析までの一例を示します。

Statistical Innovations 社開発の「Latent GOLD®」を踏襲しているので、「Latent GOLD®」を使ったことがある方なら同じような感覚でお使いいただけますし、使ったことがない方でも慣れればすぐに操作のコツがつかめるはずです。

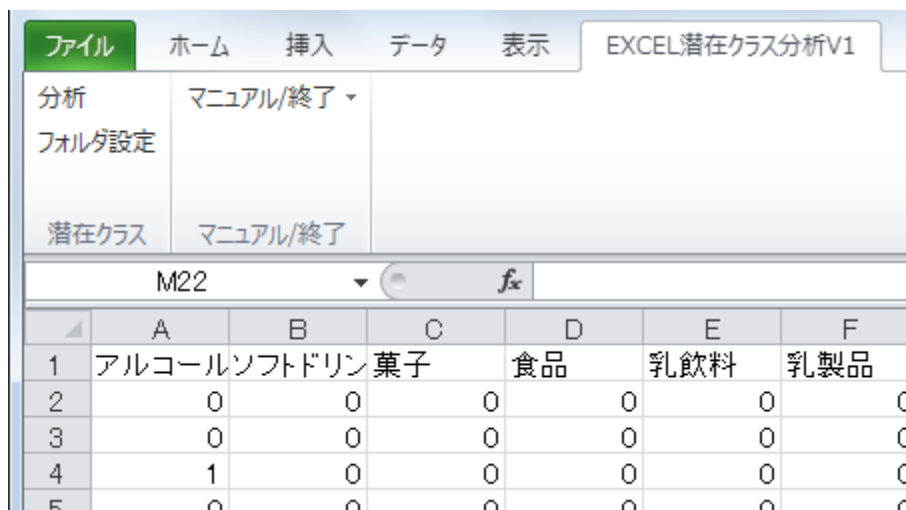
【手順 1】

データが入力された Excel のファイルを用意する。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	アルコールソフトドリンク	菓子	食品	乳飲料	乳製品	弁当・パン	性別	時間帯		
2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
3	0	0	0	0	0	0	1	2	1	
4	1	0	0	0	0	0	0	1	1	
5	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
6	0	0	0	0	0	0	1	2	2	
7	0	0	1	0	0	0	0	2	2	
8	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
9	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
10	1	0	1	1	0	0	0	1	2	
11	0	0	0	0	0	0	1	2	3	
12	0	0	0	0	0	0	0	1	3	
13	0	0	1	1	0	0	0	2	3	
14	0	0	0	0	0	0	0	2	3	
15	0	0	0	0	0	0	0	1	3	

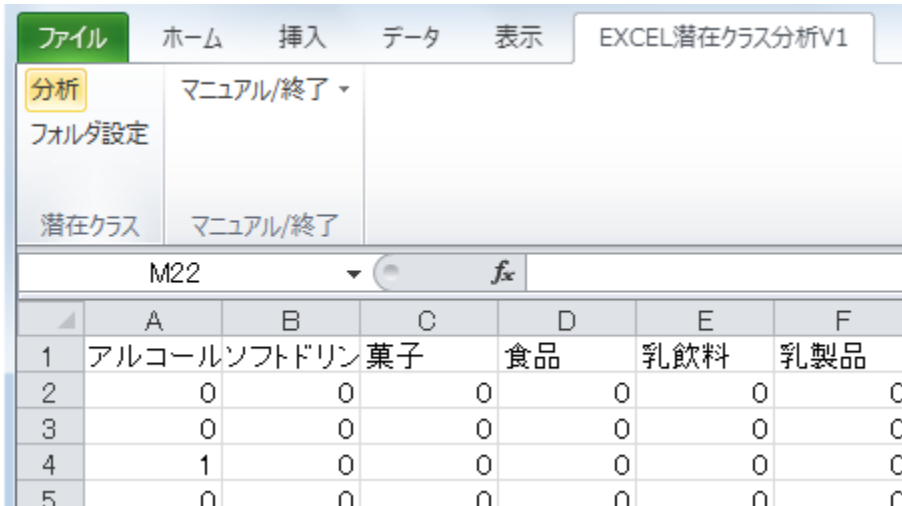
【手順 2】

ソフトを起動する。するとタブメニューに「EXCEL 潜在クラス分析 v1」メニューが表示されます。



【手順 3】

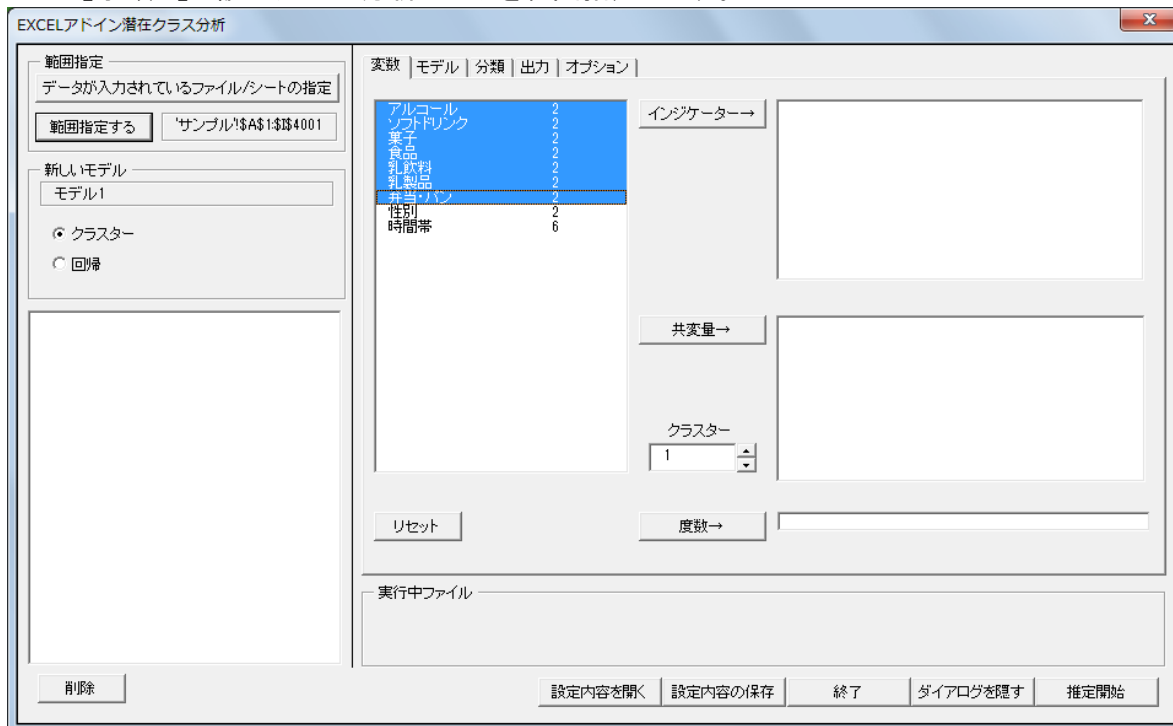
「EXCEL 潜在クラス分析 v1」タブをクリックします。潜在クラス分析のメニューが表紙されます。
「潜在クラス」グループより「分析」を選択する。



	A	B	C	D	E	F
1	アルコールソフトドリンク	菓子	食品	乳飲料	乳製品	
2	0	0	0	0	0	C
3	0	0	0	0	0	C
4	1	0	0	0	0	C
5	0	0	0	0	0	C

【手順 4】

「EXCEL アドイン潜在クラス分析」分析指定ダイアログが表示されます。
ここで【手順 1】で読み込んだ分析データを範囲指定します。



EXCEL アドイン潜在クラス分析

範囲指定 | モデル | 分類 | 出力 | オプション

データが入力されているファイル/シートの指定

範囲指定する 'サンプル1' \$A\$1:\$D\$4001

新しいモデル

モデル1

クラスター

回帰

変数

アルコールソフトドリンク	2
菓子	2
食品	2
乳飲料	2
乳製品	2
弁当・パン	2
性別	2
時間帯	6

インジケータ

共変量

クラスター 1

リセット

度数

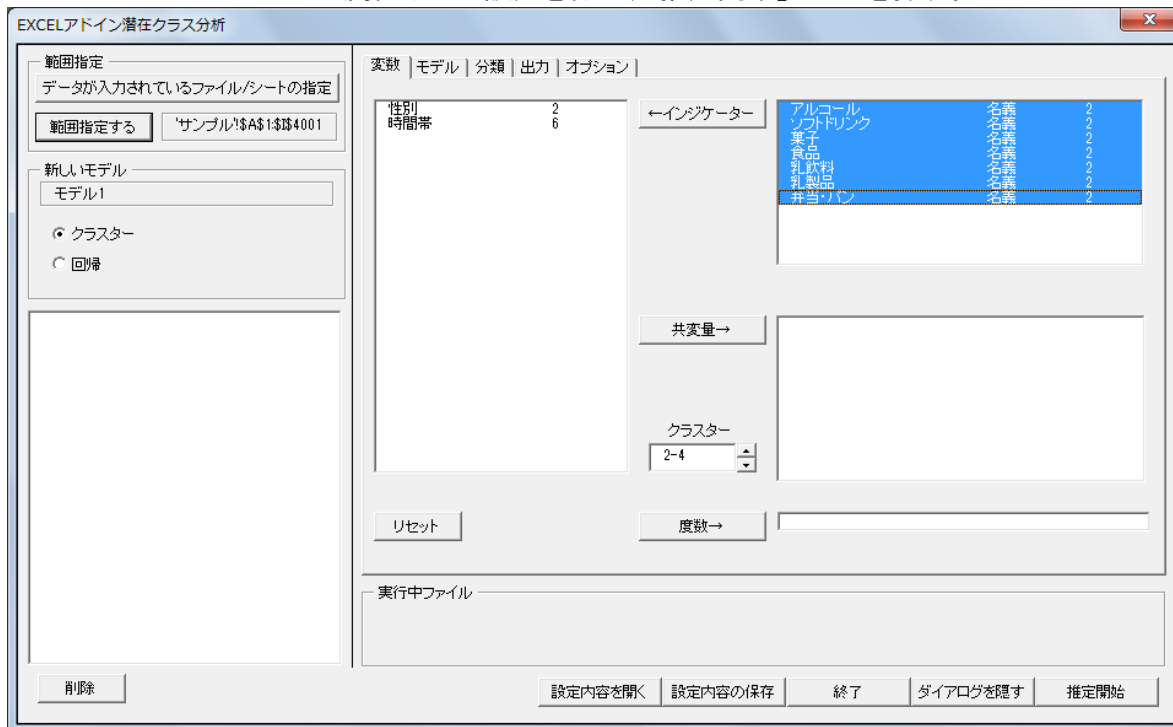
実行中ファイル

削除

設定内容を開く 設定内容の保存 終了 ダイアログを隠す 推定開始

【手順 5】

ダイアログボックスでデータ属性などの設定を行い、「推定開始」ボタンを押す。



【手順 6】

分析結果がエクセルの新規 book ファイルに出力されます。

	A	B	C	D	E
1	モデル1	— L2 = 152.2666			
2		2-クラスターモデル			
3					
4		事象の数	4000		
5		パラメータの数	15		
6		乱数初期値	73464		
7		初期値	73464		
8					
9		カイ二乗統計量			
10		自由度	112	p値	
11		L ²	152.2666	0.0069	
12		X ²	174.5866	0.00014	
13		Cressie-Read変換	155.4172	0.0042	
14		BIC (based on L ²)	-776.667		
15		AIC (based on L ²)	-71.7334		
16		AIC3 (based on L ²)	-183.733		
17		CAIC (based on L ²)	-888.667		
18		非類似度指標	0.0354		
19					
20		対数尤度統計量			
21		対数尤度(LL)	-9850.36		
22		log事前確率	-3.5193		
23		log事後確率	-9853.87		
24		BIC (based on LL)	19825.12		
25		AIC (based on LL)	19730.71		